大沼　雅也
ONUMA Masaya

■　専門分野

経営学分野・イノベーションマネジメント

■　指導可能な研究テーマ

イノベーションに関わる企業等の戦略や組織に関する研究

■　過去に指導した学生の修士論文題目

【2017 年度】

・科学的不確実性に起因する組織危機と印象管理

・サブシステム技術の存続メカニズム：磁気テープの長期的な存続

社会人専修コース担当及びサバティカル取得により、計 5 年間、既存修士の担当を中断。

■　修士論文作成のための必読文献リスト

学生の修学状況、関心とするテーマによって異なりますが、以下の文献の内容は確実に理解しておく必要があります。その他、具体的な研究テーマに関する文献については、指導の中で適宜、提示します。

・佐藤郁哉（2021）『はじめての経営学：ビジネス・リサーチ』東洋経済新報社。

・一橋大学イノベーション研究センター編（2017）『イノベーション・マネジメント入門』（第 2 版）日本経済新聞出版社。

・近能善範・高井文子（2010）『コアテキスト：イノベーション・マネジメント』新世社。

■　修士論文作成に向けた履修推奨科目

グローバル・イノベーション・マネジメント特論

組織マネジメント特論

国際経営特論

戦略経営特論

経営史特論

定性研究法特論

■　博士課程後期での研究指導実績

【過去に指導した学生の博士論文題目（学位取得年月）】

該当なし（2023 年度時点において、博士課程後期院生を 2 名指導中）

■　その他

イノベーションマネジメントに関心のある学生を求めます。研究手法については、定量と定性のどちらも指導可能ですが、修士の学生については定性研究（事例研究）を中心とします。博士課程後期については、医療・ヘルスケア領域の事例に関心のある学生を歓迎します。